

みんなのわ

- 編集：「みんなのわ」編集委員会
- 配布地域：国見・八幡小学校区、木町周辺
- 発行：全国コミュニティライフサポートセンター（CLC）
- 発行日：2019年9月25日 部数 2,000部

障がいのある子ども・人とその家族を応援しています

ぱるけ柏木

今回は柏木にある認定 NPO 法人アフタースクールぱるけで運営している放課後等デイサービスぱるけ柏木にお伺いいたしました。お話を聞かせて頂いたのは同施設の管理者の富澤樫美幸さんです。

ぱるけ柏木は平成 17 年に児童デイサービスとして開所。事業内容としては、障がいのある小学生から高校生までが対象です。放課後や長期休みに利用できます。学校が終わる時間に施設の車が各学校に迎えに行き、その後施設へ到着。時間を決めて自由遊び・おやつ・体を動かす活動や宿題等に取り組み、さまざまな遊びや体験活動を通して思いやりや優しさ等の心の豊かさ人間関係の構築、社会のルールを学んでいきます。

法人内の事業所共通の食育として、食の幅を広げる機会の提供（五感で感じる料理の工夫、季節の食材など）、生活力を身に着けるために、食を通してさまざまな経験を積む場の継続的提供（調理活動、買い物活動：食の選択）などの取り組みを行っています。

また、来年 2020 年東京オリンピック開催に合わせ、活動の中に食文化、言語など、世界の国々を知る機会を提供しています。



放課後利用の場合は 17 時から 18 時の間に施設の車で自宅へ送迎しますが、家族のお迎えを待ち、施設の自主事業で19時までの延長利用も可能となっています。

またこの他には、「通町ご近所会議」と称して、地域や市民センターや近隣団体と連携もしており、通町地区の団体との顔の見える関係づくりと、支援を要する人などの見守る目と心を共有するという目的で活動しています。その中で立ち上がったのが「てらまちフェスタ」というイベントですが、これは秋休み期間中に地域の中で安心して過ごせる場所を作ろうという目的で開催されており、紙芝居やおもちゃ遊び、地域のさまざまな団体も出店し行われております。

ぱるけ柏木では、将来どんな大人になりたいか、なって欲しいかを子どもたち自身や家族と共に考えて、その子自身の強みを発見・伸ばしていきたいとお話がありました。

障がいをもっていても地域で安心して暮らしていただけるために、自施設だけでなく、地域にも目を向けて活動されている施設でした。



DATA
 認定NPO法人アフタースクールぱるけ
 ぱるけ柏木
 住所：仙台市青葉区柏木 1 丁目7-36
 Tel & Fax：022-233-8425

編集委員会
 連絡先

国見・千代田のより処「ひなたぼっこ」

〒981-0936 仙台市青葉区千代田町 1-13
 TEL 022-343-1340 FAX 022-301-8821
<http://www.clc-japan.com/hinatabokko/>

* バックナンバーをご希望の方はお問い合わせください。





朗読サークル「たまてばこ」による怪談の読み聞かせ



一部の参加者からは「かわいい」という評判もあったお坊さんのおおけ



「東北福祉大学青葉区BBS会」によるおおけメイク体験コーナー



帰り際、「楽しかったね」とほほえむ参加者
女の子「かわいらしいおおけメイクで

北山納涼祭—おばけ寺

北山市民センターで8月25日(日)、市民企画講座「北山納涼祭—おばけ寺」が開かれ、親子連れを中心に多くの来場者でにぎわいました。

これは、毎年夏に、市民センターの活動団体と職員で開催している恒例のイベントです。今年は、朗読サークル「たまてばこ」が怪談を披露し、「東北福祉大学青葉区BBS会」がおばけ屋敷を演出しました。また、参加者が「おばけメイク」を体験できるコーナーも用意しました。待ち合いでは、ジュニアリーダー「朝実崇あかよばく」によるピーズやカサ袋ロケットづくりもあり、子どもたちは特によろこんでいました。

当日は市民センターがおばけ屋敷に変わります。かわいなおばけイラストの装飾がほどこされた館内を回って、各部屋で企画を体験します。

はじめに、怪談の部屋へ案内されます。暗幕に包まれたなか、「暗〜い暗〜いはなし」や「皿屋敷」、「耳なし芳一」などの怪談の読み聞かせがありました。

「暗い戸を開けてみると、暗い部屋がありました。暗い部屋には、暗〜い暗〜い階段があります。暗い階段をおりると、暗〜い暗〜い仏壇があります・・・」

参加者は、臨場感たっぷりの語り口に引き込まれていました。「ああいうしっとりした感じで怖い話を聞くのがいい」「おもしろかった。お部屋の雰囲気もこだわりがあって」という感想が聞こえてきました。

続いて、おばけ屋敷の部屋へ。

入り口で大学生のお兄さんから、説明を受けます。

「お坊さんの幽霊がいて、さまよっています。お札があるところに、お花をお供えして成仏させてあげてください」

今年も「おおけの館」が開かれました!



参加者は、お花を受け取って部屋に入ります。ほの暗いなかを、わずかな明かりをたよりに、進んでいきます。

「カンカンカンカン」。踏切のような、不気味な音が聞こえてきました。

「怖い」。思わずつぶやく参加者。

ドキドキしながら、先に行くと、次の瞬間――。

「なんか来たー!!!」「キャー!!!」。暗やみに悲鳴が響きます。

不意うちの仕かけにヒヤッと、ビクとしながら、なんとかお供えを終えて外に出ると、大声で叫んでいた人も、すっかり笑顔になっていました。

2歳の女の子を連れのお母さんは、「楽しかった。ほどよい怖さでいいと思います。子ども向けにやってもらってありがたい。子どももすごいよろこんでいる」と感想を話しました。

「私が来たかったので、いやがる娘を説得して一緒に来た」と言う小学生の女の子のお父さんは、「いいですね。怖い話を聞いてから、おばけ屋敷に入る順番もよくて」と満喫していました。女の子も、「怖くて固まっちゃった」と言いながらもこやかで、楽しんでいたようです。

参加者は「楽しかったね」と言い合って、笑顔で帰っていました。

来年の夏も開催予定ですので、皆さんもぜひ足を運んでみてください。



ご近所のオシャレなおもちカフェ

マルホ カフェ maruho cafe

今回は紫陽花で有名な資福寺の近くにあるカフェ「maruho cafe」を紹介します。

このお店は「おもち」を扱っており、幅広い年代の方に人気があります。

お話しを伺ったのは、オーナーの穂積拓也さん。カフェを開く前は東京で料理の仕事をしていました。母方の実家が60年も続くおもち屋さんで穂積さんの祖父がやっていました。その祖父の後を継いだ父からお店がそうながくは続けないという話を聞き、考えた末に出たのがおもちを扱ったカフェを開くことでした。昔からのおもちの味を残しつつも自身が学んできたイタリア料理も生かして提供したいと当初から考えていたそうです。

このカフェの特徴は何といても「おもち」がメニューとして存在していることですが、「盛り」も売りです。ランチは日替わりでパスタ、飲み物、おもちとセットになっており、他のメニューも量が多めです。見た目でも量でも満足できるメニューが「maruho cafe」にはたくさんそろっています。

おしゃれな雰囲気が漂うイマドキな「maruho



まちのお店 たんけん



cafe」。気になる名前の由来を聞いてみました。「古めかしい中にも新しいものが入っているイメージ」で自身の苗字の穂を囲むようにまるほと名付けたと穂積さん。おもちの昔からの味を残しつつ、新しいものに挑んでいくようなイメージでやっていきたいからとのことでした。

おもちが好きな方やオシャレなカフェが好きな方はぜひ、訪れてみてはいかがでしょうか。

DATA

maruho cafe
〒981-0931 宮城県仙台市青葉区北山1-2-24
Tel・Fax. 022-707-3621
11:00~16:00 (ラストオーダー15:30)
定休日 木曜日



ひなたごしはん

9月14日(土)

今回、ひなたごはんの見学の希望が多くあり、学生さん等の大人6人と毎回参加いただいている子どもたち3人の参加者で「コマづくり」を楽しく行いました。



デザイン次第でさまざまな見え方に変わるコマは工夫を凝らした作品がたくさん出来上がりました。遠心力についての話や、点で描いてもきれいな円となって見える不思議に興味津々な子どもたち。出来上がった後も長く回すにはどうするか等みんなで考えて遊んでいました。

お昼ご飯はレンジで作る「キーマカレー」です。ワンボールで作れるレシピで、一人一人作って食べました。「辛かったけどおいしかった」との意見もありましたがみんなに満足して頂けたようでした。4頁のずぼらクッキングにレシピを掲載しているので是非みなさまも作ってみてはいかがでしょうか。

最後に夏も終わり役目を終えたひなたぼっこのホールの壁面の花火のアートを片付ける前にとみんなで行った壁への落書きタイムでは大人も楽しい時間となったようでした。こんな遊びもたまにはいいですね。

次のひなたごはん

10月12日(土)

*参加費 子ども(中学生以下)300円 大人500円

詳しくはひなたぼっこまでお問い合わせください。(予約不要)
TEL 022-343-1340



ひなたのさろん



8月9日(金)

夏の暑い中、本日もひなたのさろんが開催されました。

はじめに座ってできる体操をし、次に簡単な脳トレを行いました。脳トレは今回が初めてでしたが、みなさん楽しく行えた様子でした。また、その後のお茶飲みも盛り上がり、月1で開催しているこのさろんも定着しつつありとてもうれしく思いました。

気になっている方がいましたら、ぜひご参加下さい。



みんなの伝言板

第4回 みんなの広場“一歩”

今回は芋煮会だよ!

子どもから大人までみんな集まれ! きっと、楽しいことがあるはず! 一人でも心配しないで遊びに来てください。お昼ごはんを用意して待っています。

小学生と遊んでくれる中学生サポーターを募集します。小さいお子さんと遊ぶのが好きな方、ボランティアに興味がある方、来てください。

- 日時** 10月20日(日) 10:30~14:00
- 会場** デイサービス湯歩(青葉区柏木2-6-46)
- 昼食代** 高校生まで無料、大人 300円
- お問合せ** デイサービス湯歩内 TEL: 022-346-6117

土曜の音楽カフェ (認知症について学ぶカフェ)

ケアマネジャーからみた認知症

- 日時** 10月5日(土) 13:30~15:00
- 会場** 東北福祉大前駅ステーションカフェ (国見1-19-1)
- 参加費** 無料 (コーヒー、紅茶、お菓子を用意します) 申し込み不要 どなたでも参加できます。
- お問合せ** 認知症介護研究・研修仙台センター TEL: 022-303-7550
国見地域包括支援センター TEL: 022-727-8923

葉山オレンジカフェ

人と人、地域をつなぐカフェ

- 日時** 10月21日(月) 10:00~11:30
- 会場** 仙台楽生園ユニットケア施設群内 喫茶レストラン「茶楽」(青葉区葉山町8-1)
- 参加費** 無料 (どなたでも参加できます)
- お問合せ** 葉山地域包括支援センター TEL: 022-273-4910

八幡和カフェ (認知症カフェ)

落語を楽しむひと時 ~笑う門には健康来たる~

- 日時** 10月17日(木) 13:30~15:00
- 会場** 彌勒院 2階 和室 (青葉区八幡1-4-19)
- 参加費** 無料 (コーヒー、紅茶、お菓子を用意します) 申し込み、予約は特にいりません。
- お問合せ** 国見地域包括支援センター TEL: 022-727-8923

シニア世代向け栄養講座

「荒巻男の料理教室」との共催となりますが女性も参加できます

- 開催日** 10月28日(月) 10:00~13:00
- 会場** 荒巻コミュニティセンター2階中会議室・調理室 (青葉区あけぼの町12-20)
- 参加費** 500円
- 参加費** エプロン、三角巾、筆記用具 *申込締切 9月20日
- お問合せ** 葉山地域包括支援センター TEL: 022-273-4910

楽しく笑顔に! 体操教室

椅子に座って行う体操です

- 日時** 10月31日(木) 14:00~15:00(受付13:45~)
- 会場** 貝ヶ森市民センター2階 会議室(貝ヶ森1丁目4-6)
- 参加費** 無料 (どなたでも参加できます)
- 持ち物** 飲み物・タオル・運動しやすい服装・上靴
- お問合せ** 国見地域包括支援センター TEL: 022-727-8923



ワンボールで作るキーマカレー

本来のキーマカレーのレシピは「カレー粉」と「フライドオニオン」を使いますが、今回は市販の「カレールー」と「玉ねぎのみじん切り」で代用しました(笑)自分好みの味付けにアレンジするのも楽しいですよ~

《材料》2人分

豚ひき肉 150g カレールー 2かけ
 塩 小さじ1/2 薄力粉 大さじ1
 砂糖 小さじ2 玉ねぎのみじん切り 中サイズ1/4個
 にんにくすりおろし 小さじ1/4 トマト缶 200g
 しょうがすりおろし 小さじ1/2 水 1/4カップ



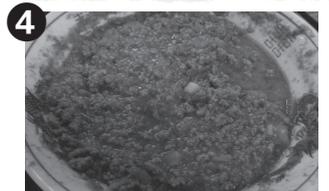
みじん切りにした玉ねぎを600wのレンジに1分間かけ火をとおり、カレールーを刻んでおく。



耐熱ボールに材料全部を入れてまんべんなく混ぜ合わせる。



ラップをして600wで5分加熱する。



最後にもう一度混ぜ合わせたら完成。

* 加熱が足りない時は1分づつ追加加熱してくださいね。

地域食堂 ひなたの夕ごはん

おとなも子どももおじいちゃんもおばあちゃんもみんな夕食を食べるとたのしいね。



- * 毎週月曜日~金曜日の 17:00~19:00(土・日・祝日を除く)
- * 場所 ひなたぼっこホール (予約不要)
- * 1食 子ども(中学生以下)300円 大人500円
TEL 022-343-1340 ひなたぼっこ

ひなたくらぶ

小中学生にひなたぼっこホールを無料開放しています♪
遊んでても勉強してもいいよ(放課後 18:00まで)



お問合せはひなたぼっこまで TEL 022-343-1340